

## 群馬音楽センター

### 舞台技術ワークショップが開催されました！

○日時：平成29年1月22日(日) 13:00~15:50

○参加者：高崎市内高等学校の吹奏楽部のみなさんと顧問の先生

○講師：群馬音楽センター技術スタッフ

○参加費：無料

今年も「群馬音楽センター舞台技術ワークショップ」が開催されました。高崎市内の高校吹奏楽部のみなさんが参加され、演奏会で役立つ照明演出や機材の使い方はもちろん、安全な山台（ひな壇）の作り方と正しいマイクの使い方など、さまざまな舞台技術を体験していただきました。おかげさまで、たいへん盛況のうちに終了しました。

今回は、多くの熱心な生徒さんの要望により、本編終了後に特別にピンスポットライトの使い方なども体験しました。

ご参加誠にありがとうございました。





☆緞帳はただの布ではなく、その中には金属製の重りやワイヤーが入っているのととても危険です。また、譜面台や楽器は緞帳に引っかかると持ち上がったり、転倒しますので気をつけましょう。



☆山台（ひな壇）が自分たちで組むことができると、定演での転換もスムーズになります。また、安全な舞台進行にもつながります。

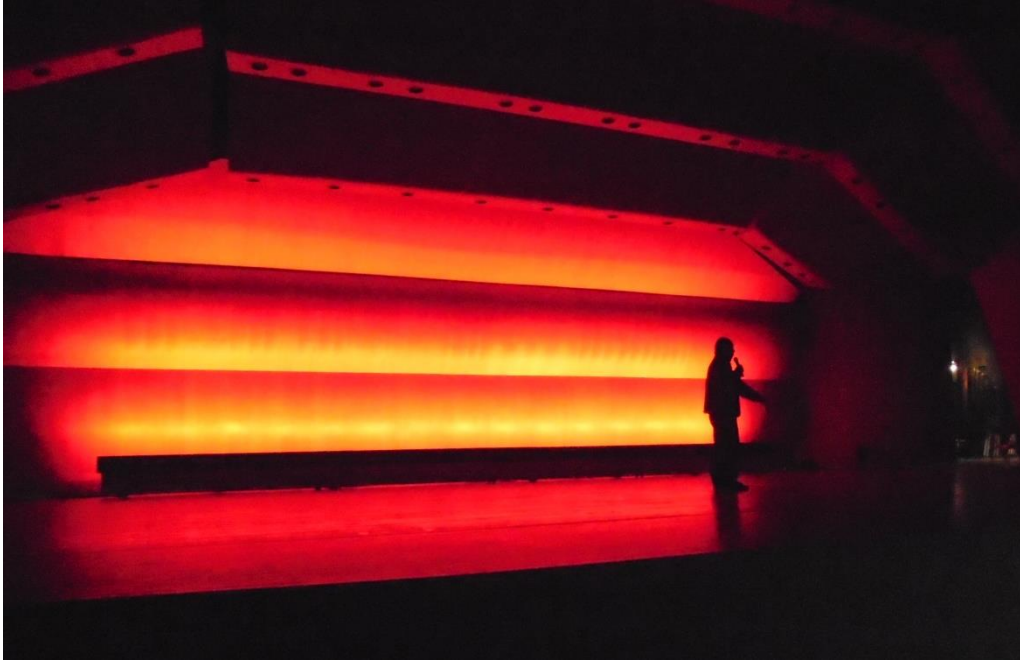




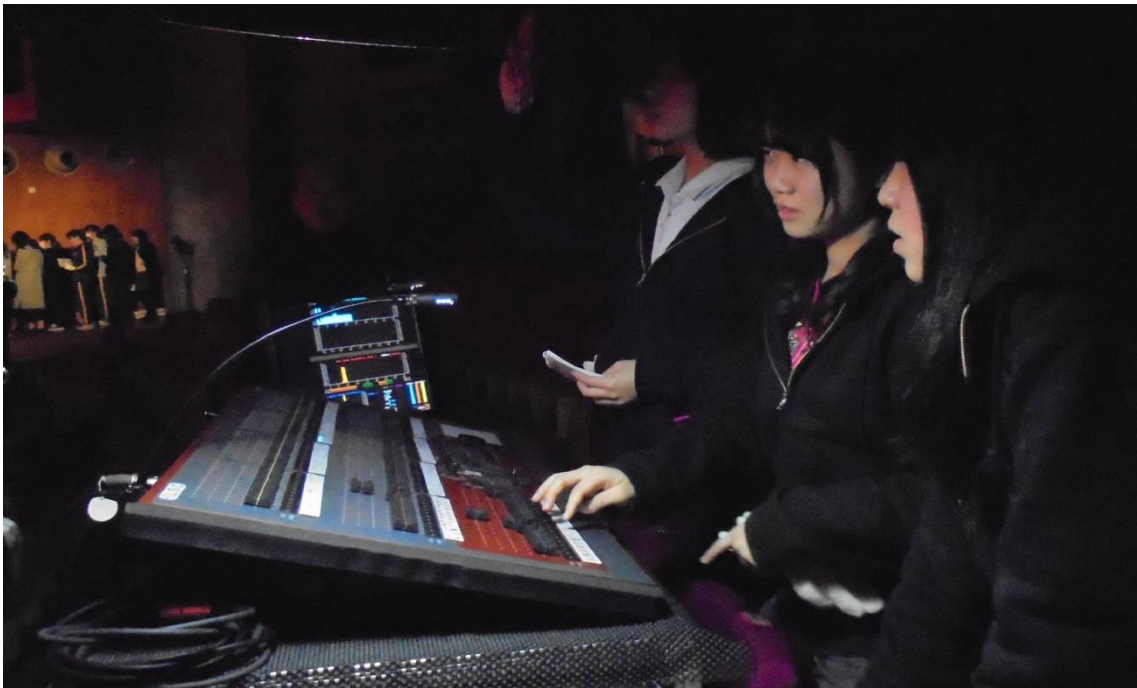
☆マイクにもいろいろな種類があり、またそれぞれに特徴があることも勉強しました。音の出口、スピーカの位置も重要です。  
もうマイクは叩きません！



☆正面反射板にもパーライトを使うとこんな演出（サーチ）ができます。



☆思い切ってこんな演出も！



☆定演ではこのデジタル調光卓(明かりを調整する機械)を使用します。  
一本のフェーダー(縦方向に移動するつまみ)にいろいろな明かりを記憶することができます。チェイス(動きのある演出)も可能です。





☆調光卓の使い方が分ると、定演での演出のイメージがつかみやすくなり、打ち合わせもスムーズに行うことができます。

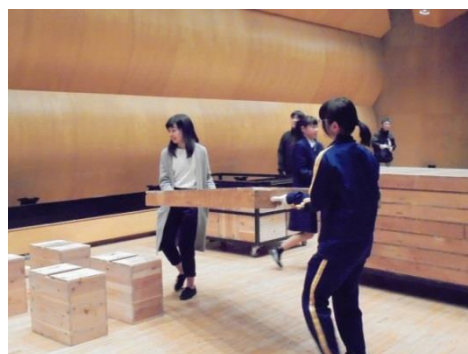


☆受講者には修了証も。おつかれさまでした！

## ○受講者の声

### □舞台について

- 今までは山台の組み立て方はその場でスタッフの方に教えてもらっていたけれど、これからは率先して舞台づくりを手伝いたいです。
- 山台の組み立て方などは、定演のときに同じ部員にも伝えなくてはならないので、詳しく教えてもらえてよかったです。
- 山台の不要なツカミの数を減らせば、転換時間の短縮ができるなど、効率のよい方法を教わったことがよかったです。
- 山台を組むときに、人数が多すぎても邪魔になってしまうことがわかった。
- 山台を片付ける作業を一から教えていただいたので、座奏からマーチング舞台への転換がもっと早く、てきぱきと出来ると思います。
- 楽器の搬入、搬出の際の注意点が分かったことが役に立ちそうです。
- 舞台上での危険な点や注意する点について教えていただいたので、他の部員に伝えてけが防止に努めたいです。
- 実際に反響板を移動させて危険性、安全の重要性を確認できてよかったです。
- 定期演奏会では、スムーズに皆で舞台づくりができそうです。
- 花道まで使えることがわかったことがよかったです。



### □照明について

- 定演での演出を考えるための案がたくさん出てきました。
- 演奏をよりよく聴いてもらうため、雰囲気を作るためのいろいろなアイデアが考えられそうです。
- どんな演出ができるのか想像の幅が広がった。
- 演出の仕方、青を出すときは周りの照明を暗くしなければいけないことがわかった。
- プランを考えるためにいろいろなことが試せたところがよかったです。



- シルエットだけの照明など、いろいろなシチュエーションを体験させていただいたところがよかった。
- 知らないエフェクトマシンなど、知って役に立つ照明がいっぱいあったので、演奏を華やかにするために使ってみたいです。
- 予算のことも教えてもらえて役に立ちます。

#### □音響について

- マイクの種類や特徴を教えてもらったので、いろいろな使い方が考えられ、工夫次第でよりよい演出になると思いました。
- 使用できるマイクの数があったので、定演でのプランが考えられる。
- マイクを叩いたり、吹いたりせず、気をつけて取り扱いたいです。
- ピンマイクだけでなく、ヘッドセットタイプもあることがわかってよかった。

#### □その他

- すごく貴重な体験ができて本当によかったです。すごく役に立つようなことばかりで今回学んだことを生かして最高の定演にします！！